



OFFICIAL
SELECTION

INTERNATIONAL
FILM FESTIVAL
ROTTERDAM
0022

そっと寄り添う
ゆっくり生まれ変わる

a film by anders emblem
a human position
ヒューマン・ポジション

Director Writer Editor : Anders Emblem

Cinematographer : Michael Mark Lanham Music : Eirik Slinning Korsnes

Production Designer : Brynhild Dagslott Producers : Stian Skjelstad, Anders Emblem

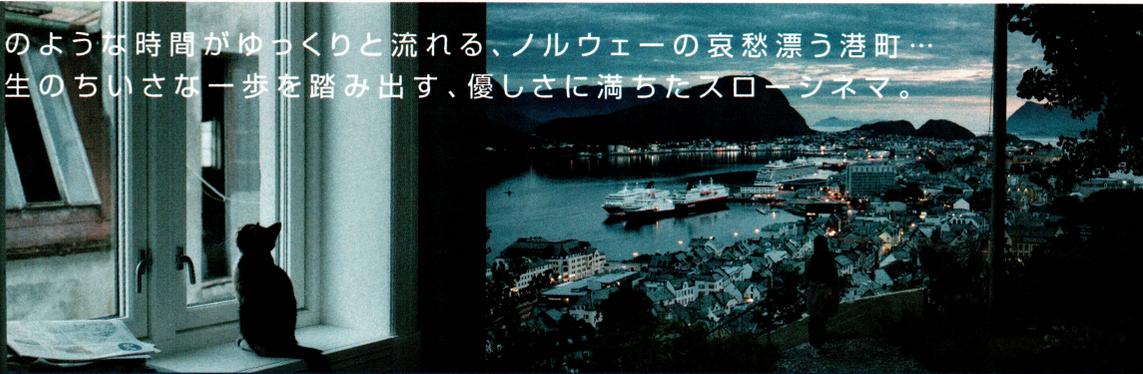
Production : Vesterhavet Film Cast : Amalie Ibsen Jensen, Maria Agwumaro, Lars Halvor Andreassen

Presented by crépuscule films cinema succession Distributed by crépuscule films

2022/Norway/color/78min ©Vesterhavet 2022



夢のような時間がゆっくりと流れる、ノルウェーの哀愁漂う港町…
人生のちいさな一歩を踏み出す、優しさに満ちたスロージネマ。



青くて、物悲しいノルウェーの長い夏。パステルカラーに包まれた港町の丘をゆっくりと登って振り返るアスタ。新聞社に勤める彼女は、地元のホッケーチーム、アールヌーボー建築を保存するための小さなデモやクルーズ船の景気など地元の人々取材しニュースにする。彼女の支えとなるガールフレンドのライブは、デザインチェアを修復し、キーボードを演奏し作曲をする。子猫が歩きまわる家で、料理を作ったり、古い映画を観たり、ボードゲームを楽しんだり二人は穏やかな時間を過ごす。ある日、アスタは10年間ノルウェーに住み、働いてきた難民のアスランが強制送還されるという記事を目にする。その事件を調べて行くにつれ、アスタは自身を覆っていた無気力感を払拭し、仕事とプライベートの両方で自分が求める”心の居場所”を次第に見出していく…。

監督は、本作が長編2作目となるノルウェーが生んだ才能アンダース・エンブレム。フィヨルドに囲まれ、絵画のような色彩豊かな風景で「ノルウェーで最も美しい街」と称される監督の故郷オーレンスを舞台に、写真集を捲るように優しく美しい筆致で丁寧に描く。自身のインスピレーションの源としてロベール・ブレッソンと小津安二郎を挙げるエンブレム監督は、劇中でも『お茶漬の味』のセリフを登場させ、その小津愛される演出には誰もがニヤリとするだろう。また、もう一つの主演とも呼べる椅子への想いが、二人をより結びつけている。ある喪失感を抱えた主人公の日常をそっと見守る子猫も、名脇役として作品に貢献している。主人公アスタを演じるのは、監督デビュー作『HURRY SLOWLY (原題)』に続いて再びタッグを組んだアマリエ・イブセン・ジェンセン。彼女に優しく寄り添うライブ役にはマリア・アグマロ。柔道着を着て、着物を着る。日本の映画を観て、囲碁を打つ。箸を使って食事をする。少しずつ描かれる二人の機微を愛でるように心静かに見守るプロセスは、観るものを心和む気持ちに導いてくれるだろう。

窓越しの淡い新緑、葉のざわめき、風の通る木陰など、何気ない日々のスナップショットを並べたような描写と共に、柔らかな色彩に包まれたこの作品は、静かな佇まいで絵の具が乾くのを見るかのように進む。何かを声高に叫ぶわけでもなく、世界で最も裕福な国の一つであるこの国の社会に対する、微妙な疑問とメッセージをそっと囁くように投げかける。心拍数を安定させながら、心乱さず高揚させてくれる物語は、「語らずに語る」スロージネマだ。



ヒューマン・ポジション

監督・脚本・編集：アンダース・エンブレム
 撮影：マイケル・マーク・ランハム 音楽：エイリク・スリニング
 製作：ステファン・スケルタッド、アンダース・エンブレム
 出演：アマリエ・イブセン・ジェンセン、マリア・アグマロ、ラース・ハルヴォー・アンドレアセン
 原題：A Human Position 日本語字幕：西村美須寿
 提供：クレプスケール フィルム、シネマ サクセション 配給：クレプスケール フィルム
 [2022年/ノルウェー/ノルウェー語/カラー/ヴィスタ/78分] ©Vesterhavet 2022

position.crepuscule-films.com

